

会 議 録

会議の名称	令和元年度 第1回 伊丹市国民健康保険運営協議会
開催日時	令和1年10月25日(金) 13:30~15:00
開催場所	伊丹市役所 議会棟3階 第2委員会室
出席者	梶原委員、金川委員、藤本委員、池信委員、常岡委員、吉村委員、梁川委員 千葉委員、上村委員、中村委員、細川委員、安達委員 (以上 12名)(順不同)
欠席者	塩谷委員、市村委員
事務局	坂本健康福祉部長、大橋保健医療推進室長、中井健康政策課長 池田国保年金課長、他
会議の成立	委員総数14名のうち12名出席 <過半数出席のため成立する>
署名委員	金川委員、梁川委員
傍聴者	0名
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 委嘱状交付 3. 市長あいさつ 4. 委員紹介 5. 会長等の選任 6. 諮問 7. 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 平成30年度伊丹市国保会計決算の概要について 8. その他 <ul style="list-style-type: none"> ※ 保険者努力支援制度について ※ 後発医薬品の利用促進について 9. 閉会
備考	

議 事 要 旨

事 務 局

議題（１）平成30年度伊丹市国保会計決算の概要について

（事務局より資料「平成30年度国保会計決算の概要について」説明）

○質疑応答

会 長

私が注目している点ですが、収納率が年々改善していますが、県平均にあと0.01ポイントまで迫っているということです。今後も引き続き徴収努力をしていただきたく存じます。

次に、繰入金ですが、法定外の部分については、国からの指導もあり、こうして法定外繰入金を減らすことは、合理的な判断であると思います。

財政調整基金の残高については、平成31年補正後、21億円ということですが、一見積み上がっているようには見えますが、今後の医療費の増加などを推測すると、これでも今後は基金が減っていくだろうと考えられます。また、傾向としまして被保険者数が減っていくということや、保険料を納める人数が少なくなっていくということと、一人当たりの医療費の額が増えていく傾向は明らかで、会計自体はずっと安心というわけではないということです。そうした中でも、本市は平成25年度以降、税率改定をせずに頑張っているという状況になっているということです。

<p>事務局</p>	<p>報告事項「その他」について</p> <p>(事務局より資料 「保険者努力支援制度について」「後発医薬品の利用促進について」説明)</p> <p>○質疑応答</p>
<p>会長</p>	<p>保険者努力支援制度ですが、市町村については500億円を全国の各市町村で競い合うというような仕組みになっています。指標の「1」については残念ながら本市は加点できていない状況です。こうした指標についてどのように上げていくのか、医師会様のご協力を得て実施しているのかなと思いますが、そのあたりはいかがでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>こちらにつきましては、特定健診受診率など複数の事項があり、事項別に獲得基準があります。特定健診で申しますと、国の目標として60%以上、次に上位3割、そして上位5割です。該当しなければ前年度より3ポイント以上の上昇という基準がございます。伊丹市は34.7%でございました。</p> <p>31年度の評価は、28年度の事業実績が基準となります。28年度の実績においては、当時の上位5割40.98%を獲得するためには6.2ポイント増やす必要がありました。現在、特定健診は個別の各医療機関での検診と保健センター等公共施設で行う集団検診を実施しているところでございます。医師会さんとも受診率向上につきましては、協議をさせていただいて、各医療機関に受診勧奨ポスターを掲示したり、土日の開催を実施したり、がん検診とセット検診を実施しているところでございます。しかし、受診率で基準となる成果を上げて、ポイントを獲得するまでには至っていません。現在本市の受診率は県平均レベルより0.1ポイント足りませんが、ほぼ県平均レベルといった状況でございます。</p> <p>評価に関して特定健診で申しますと、兵庫県下でポイントを獲得できた市町は、41市町中12市町で、あとの市町村は特定健診、すべて0ポイントでございます。国の求める数字までと、努力・啓発等しているのですが、至っておりません。</p>
<p>会長</p>	<p>保険者努力支援制度はこうした保険者の経営努力で交付金の金額が変わりま すし、国保財政への影響も出てきますので、努力できるところから実施しなければ ならないものです。また、県平均だと収納率は、阪神間の他市町と比較して、 ここからさらに上げることは難しいかもしれません。このように地域性もあるの かと思われます。点数を上げられる評価はどこであるのか、ということについて は、今後事務局から情報提供していただけたらと思います。</p> <p>「後発医薬品の利用促進について」 (質問等なし)</p>